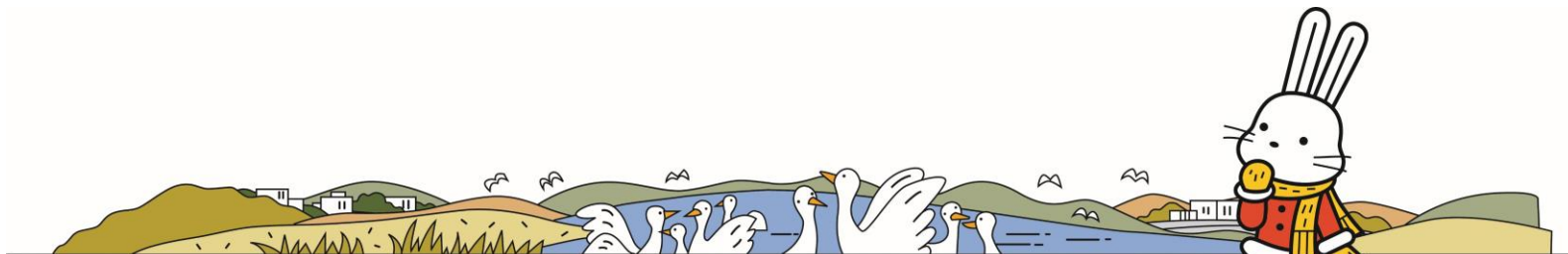


記者会見説明資料

東口再開発事業の現在地の報告

2026.02.27

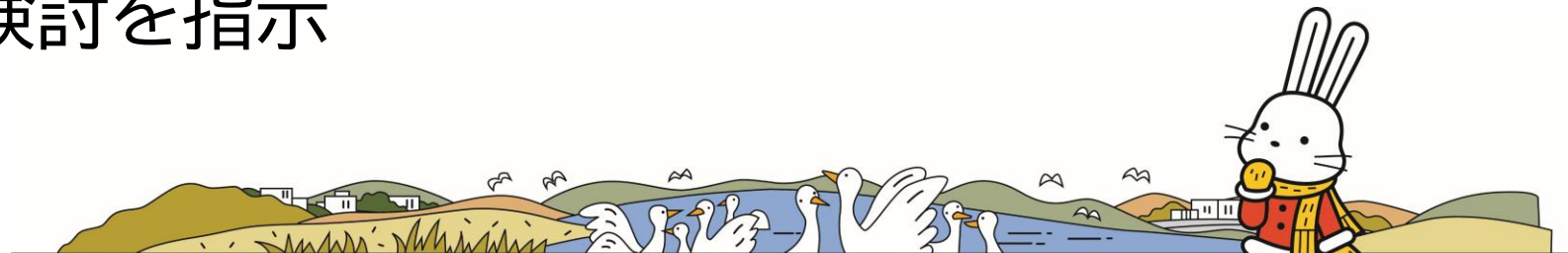


1. 東口再開発事業の現状

- 市長就任時、議会説明時の市取得費(270億～300億円)と比較して、
 - ・大幅な上昇予測(市場の物価高を考慮して320億円程度)
 - ・スケジュールの遅延(7か月)を確認

※詳細は、3月中となると説明を受ける

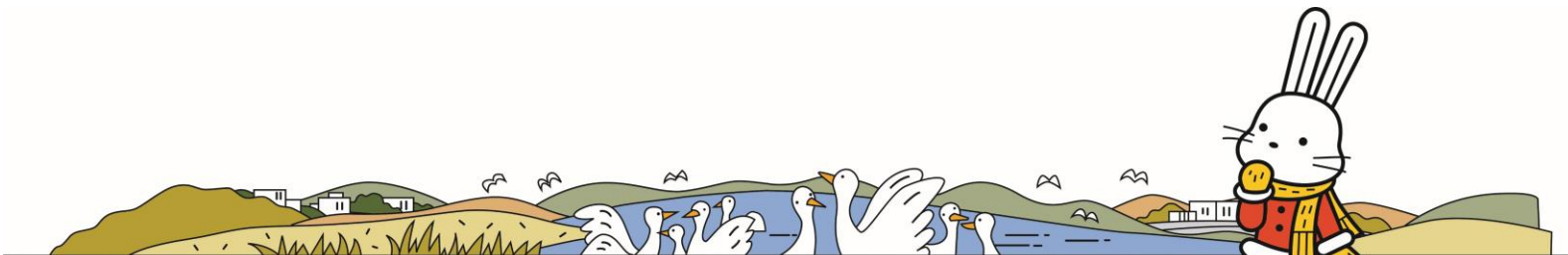
- 市取得費の上昇予測分を打ち消し、議会説明時の値を目指すべく、持続可能な水準への事業規模・市負担の最適化、および市民利用できる機能の検討を指示



2. 12月議会時の見直しの整理

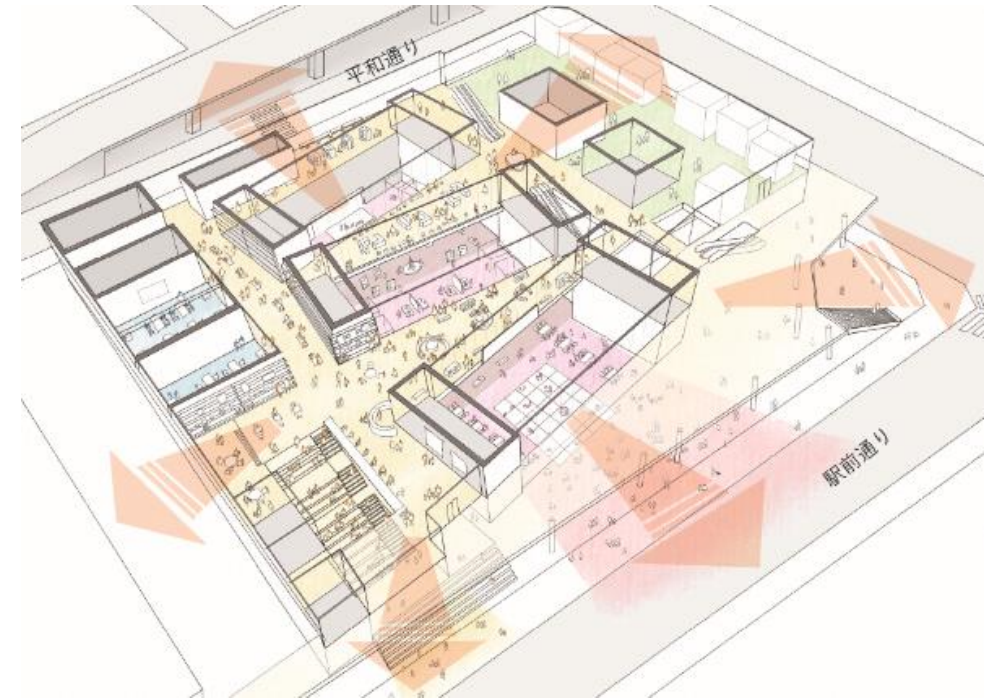
ポイント

- ①市民の日常使いと利用しやすさ
- ②事業費(市取得費)の妥当性
- ③将来にわたって活用される福島
ならではの特色



3. 見直し案(現在検討中)

- 建築工事費上昇に対応するため、設備・内外装の仕様見直しを実施し、コストコントロールを行う
- 構造を変えると建設が大幅遅延することから、構造の変化を最小限に、床面積約1割程度の削減案を作成。
- MICEの機能の確保
- 市民の利活用スペースの実現
- 組合と市の共同の事業趣意書を作成



4. 最新の情報と今後の方針

■ 3月 基本設計にもとづく概算事業費及び市取得費の報告

※現状の上昇予測を大幅に超える見通し。

組合と事業規模・内容や、民間事業としての採算を丁寧に確認し、
また市負担を持続可能な水準へ再構築する必要あり

■ 4月 VECDなど、コスト削減について検討

■ 5月 全員協議会での説明(公共・民間の事業方針の説明)

準備工事(土地整地:12月補正で承認)の開始

